前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称)								住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)							
名 岡山アスコン株式会社								〒 701-0206   岡山市南区箕島 2 5 9 7							
本票作成 部署名: 本社(岡山西工場)															
主たる業種   <sup>分類</sup>   21   業種名:窯業・土石製品製造業															
事業の 概 要															
県内の 主 な 工場等	番号	番号 工場等の名称							所 在 地						
	1	岡	山アスコン岡山東工場					岡山市東区一日市541							
	2	岡	岡山アスコン岡山西工場					岡山市南区箕島2597							
	3	岡	岡山アスコン倉敷工場					倉敷市松江3-17-27							
	1														
特定事業者 🗹 ①燃料等原油換算1,500k0以上 🗌 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 🗌 ③C0₂換算3,000t以上															
の該当要	14 (		場等	の数		3 所	•	車両で	台数(②詞	核当の場合	)		台)		
温室効果カ	ス 基	準年	度(台	5和 3	年度)	( 令和	4	)年/	度排出量	目標年	度( 令	和	8 年度)		
排出量	排出量 6,784 t C				$\Sigma O_2$			4, 868 t CO <sub>2</sub> 6, 120 t CO <sub>2</sub>							
	番	番号 工場				場等の名称			(令和 4 )年度排出量						
		1 岡山アスコン岡				]山東工場			1, 992 t CO <sub>2</sub>						
主な工場	华 —	2 岡山アスコン			可山西工場			1, 852 t CO <sub>2</sub>							
土な工場の排出量		3	岡山アスコン倉敷工場					1,024 t CO <sub>2</sub>							
													t CO <sub>2</sub>		
													t CO <sub>2</sub>		
													t CO <sub>2</sub>		
		画其	間:	令	和 4	年度	$\sim$		令和 8	年度	(	5	箇年度)		
削減目標   達成状泡		☑ 総排出量基準			(4))年度削減等			績	目標	削減率	【率 目標達成				
上次小儿		原単位基準				28. 2			1.0 % 🗹 達成 🗆			□未達			
	温:	室効:	果ガスの	の排出量と額	密接な関係	系をもつ値の	内容			原単位当たり	) 排出量				
(原単位基 の削減目標	準							基準年度 ( 4 )年度 目標年度							
選択してい 場合に記入	る														
物口に比八	.)								$C0_2/($ $)$ $C0_2/($ $)$ $C0_2/($ $)$						
(該当事業者のみ記入)  ベンチマーク 対象事業の名称 ベンチマーク指標 関連数値(令和 4 年度) 達成									Las 15 (1.17)						
ベンチマー	´	対	<b>聚事業</b>	の名称	ベンチマーク指標				関連数	(値(令和	4	年度)	達成率等		
指標の状	况														
【削減状				f)ァffp // 40	) .— ·	± 35 0 0 0	0 F F	7 () [	ιlπ. <i>γ/ω</i>	1月日号几/#41八	<i>⁄</i> ₩ [[.) ~	/广-四			

前年比1%の削減を目標に取り組んできたが2022年度は公共投資、民間設備投資共に低調で温室ガス効果と密接に関係するアスファルト合材の製造が前年比98%と減少の効果と考えられる。

	trate 440	
		成のために実施した措置及び今後の取組】 の名称 実施した措置及び今後の取組の内容
岡山東工場 自敷工場	場	(令和4年度実施分) 効率的な連続運転と保温サイロの活用 (今後実施予定分) 効率的な連続運転と保温サイロの活用及び新技術による低温化アスファルト合材 の製造への取り組み
【杰林伊	. 夕笙때	
県内で	無無無	4文/赤入] 水 、
の取組	7///	
その他	無	
【再生可	能エネ	ルギーの導入】
県内で の取組	無	
その他	無	
【その他	特記事	

【推進体制】 社長を全体責任者とし各工場では工場長を責任者としてプラント操業者4人~6任にの組織